学年別教科別勉強法

三年生にとって夏休みはもちろん例年 "天王山" ですが、今年度は一、二年生も休校による影響・遅れを解消すべく学習に励んでください。７月は授業日となり、いつもよりは短い夏休みですが、じっくりと腰を据えて取り組みましょう。何をどうすればよいか？と迷ってしまう人もいると思いますが、先生方からのアドバイスを是非参考にしてください。

一・二年生

国語　里見祐輔先生より

夏休みに行ってほしい国語の学習のポイントは三点です。

①古典の文法事項の復習

一年生は、用言、助動詞、漢文訓読など、授業で学習した内容をよく復習してください。二年生は、用言・助動詞・敬語・頻出の助詞など、古文の基礎的な文法事項はほぼ伝え終えています。漢文句法も、昨年度の土曜課外で全て紹介済みです。小テストも含め、これまで学習した内容を再確認してください。一年生は夏休みの課題や三分間トレーニング、二年生は課題、小テスト、休校中に配信されたＷｅｂテストなど、手持ちのアイテムを繰り返し活用しましょう。ここでの基礎固めが、今後の伸びしろの確保につながりますよ。

②語彙力のUP

言葉を知らずして、国語の学力向上は叶いません。語彙力の向上は不可欠です。古文単語、漢文の用字の理解が読解において必須なのは分かっていると思います。が、それだけではありません。現代文でも、よく分からない言葉がたくさん出てきているでしょう。言葉を知ることは、世界を知ることです。語彙力をつけてください。

現代文における語彙力向上は、漢字の学習で達成を目指します。漢字の読み書きだけでなく、言葉の意味まで頭に入るように学習してください。二年生は、単語帳も活用しましょう。古典は、授業で学習した言葉の復習と単語帳での学習が軸になります。古文単語は、①漢字で覚えること、②語源を知っておくこと、この二点を意識して学習してください。

③国語に関する知識を増やす

現代文であれ、古典であれ、文章を読むうえで、予備知識を持っておくに越したことはありません。

現代文であれば、評論で頻出の話題を知っておくことです。二年生は、単語帳を眺めるだけでもいいですよ。あとは、新聞や新書を読むことです。これは、現代文だけでなく小論文対策にもつながってきます。さらに、大学入学共通テストには実用的な文章を扱う問題が出題されますので、その対策にもなりますね。

古典の予備知識は、『古典常識』と呼ばれます。当時の時代背景や生活習慣を知っておきましょう。特によく描かれるのは、天皇や貴族など上流階級の人々とその周辺です。手軽に読めるマンガや小説が出版されていますので、ぜひ読んでみてください。

★おすすめマンガ…『あさきゆめみし』（源氏物語）、『天上の虹』（万葉集）、『三国志』『史記』など

★おすすめ小説…『はなとゆめ』（枕草子）、『六条御息所　源氏がたり』（源氏物語）など

夏休み明け、パワーアップした皆さんに会えることを期待しています！

数学　木幡修三先生より

これまでの数学の取り組みを振り返ってみてください。板書を写して満足していたりしていませんか？解答を写しただけなのにやったつもりになっていませんか？数学の学習で一番大事なのは、自分の力で解ける問題を多くすることです。夏休み中に出される課題は主にこれまで学習した内容の復習です。この時期に取り組んで欲しいことは、既習事項、基礎基本の定着です。

夏休みの課題の取り組み方の手順を以下にまとめました。参考にしてください。

①まずは自力で問題をノートに解き、答え合わせ後、問題番号に○×印をつける

一度目は「どの問題ができて、どの問題ができないか」の確認です。いわば勉強の準備作業であり、ここで終わっては意味がありません。ノートだけでなく、課題の問題番号のところに赤ペンで○×印を書き込むのがポイントです。

②×の問題は解説（教科書や参考書などを参照）をよく読み、翌日に再挑戦

○印の問題はもうできているので、解き直す必要はありません（どうせ似た問題がまた別の場所で出てきます）。×印の問題は、解説をじっくり読んでください。解説を読んだ直後はできるに決まっているので、×印の問題は翌日以降に再挑戦してください。その上で、今度は背ペンで問題集に○×印をつけてください。この②のプロセスが、最も重要です。

③×印がなくなるまでくりかえす

要は「できない問題ができるようになる」ことが勉強です。この学習法で最後のページまでやったら、その問題集は「自分の苦手な部分が一目でわかる、世界でただ一冊の問題集」になります。

一、二年生が受験する大学入試では、「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」など総合的な「知識・技能を活用する力」が求められます。ここまで挙げたことは受験のためにも必要な過程だと思います。

夏休みはこれまでの復習に時間を掛けられる貴重な期間です。有意義に過ごしてください。

英語　佐藤杏美先生より

夏季休業中に皆さんに行ってほしい内容は以下の内容です。

①文法事項の定着

五文型や英語表現で学習した文法事項は完璧に理解できていますか？ただ問題が解けるだけではなく、文法書をよく読んで理解した上で問題演習に取り組んでください。問題演習は教科書、ワーク、確認問題集、暗唱例文集を最大限に活用しましょう。

皆さんは学校の教材で十分な演習量の問題集を持っています。一冊を完璧に。不明な点は積極的に質問すること。

②語彙力の強化

単語帳・教科書を活用して、発音やアクセントに注意しながら学習してください。

③良質な英文に触れる

今まで学習した教科書の英文や受けた模試の英文を復習してください。訳が難しい英文や理解が不十分な英文、模試で分からなかった問題を中心に復習してみましょう。

余力がある生徒は英語の物語や、英字新聞に挑戦してみるのもおすすめです。

④諦めずに反復学習をする。

語学の学習はすぐに身につくものではありません。何度も同じ問題や類題に取り組んで定着させましょう。忘れても辞書や文法書で自主的に調べて、根気強く取り組んでください。わからないことはためずにすぐに質問して、夏季休業中に既習事項の定着を図りましょう。

理科　川島仁先生より

夏休みは、自分なりに勉強を計画して行うことができる、貴重な時期ですね。段階を追って行ってもらいたいと思います。

①基礎知識の定着

問題を解こうとしても、それを考えるための基礎知識がないと対応できません。なので、まず行わなければいけないことが、「重要語句」や「基本的な計算」「作図」などの復習・確認です。

特に「基本的な計算」は、パターン化している場合が多いので、類題をドリルすれば必ず身につくはずです。

②身近な自然・科学技術に注目

これは将来、理科関係の分野に進学を志すものは必修事項です。

夏の夜空でもいい、朝聞こえてくる野鳥のさえずりでもいい、日中発生する大きな雲でもいい、身近な自然を意識した生活をしてください。また、ニュースなどに出てくるハイテク技術などにも注目しましょう。理科的な発想、現象の捉え方が重要です。

③思考力を養うための演習

どうすれば思考力が養えるのか？一つの方法を提示します。

文章が長く、さらに図やグラフ・資料が一緒に提示してあるような問題に対して「問題を深く読む」練習をしてください。よーっく読めば、至る所に考える方向性を示すキーワードが存在しています。考える方向性が見えれば、解決まではそんなに遠くありません。

夏休みのような、じっくり時間をとれる時期こそ、挑戦してもらいたい内容です。

④先取り学習

やはり難関大学を目指す場合、早めに入試問題の演習を行えるようにするために必要なことです。そして学問の全体像（教科書の始めから最後まで）をとらえると、部分どうしの繋がりや勉強の力の入れ方が分かるようになります。

例えなら、「ある町から隣町まで標識を見て移動する」ことが「地図で広い範囲を見渡すと、他のルートも発見できるし、他の町との繋がりも見えてくる」ようになることと同じです。

有意義な夏になることを期待しています。

地理・歴史　大和田好倫先生より

一、二年生の皆さんが受験する大学入学共通テストが、いよいよ令和三年度大学入学者選抜よりスタートします。「地理歴史と公民は暗記で大丈夫！」と思っているそこのあなた、その考えのままで本当に大丈夫ですか？

【敵を知り己を知れば百戦危うからず】

大学入試センターが発表している大学入学共通テストの出題方針には、「知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視する。」とあります。これは、歴史の出題方針に「例えば、教科書等で扱われていない初見の資料であっても、そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連付ける問題」とあるように、教科書の愚字（太文字）を意味もなく暗記する一朝一夕の学習法では対応できない問題なのです。

【ローマは一日にして成らず】

では、どのような学習方法が効果的なのでしょう。それは、教科書や授業で学んだ知識を正しく理解すること→理解した内容を正確に覚えること→覚えた内容を適切に活用すること。この学習サイクルを繰り返すことです。そこで、この夏、一、二年生には中学時に学習した社会の知識や、入学後に学習した授業の内容を踏まえ、新聞、新書や小説を読み、読後に正しい語句を用いて、根拠を示しながら自分の考えを表現する学習方法を提案します。論理的な思考力を養う上でも効果的で、国語や数学などにおける学びにもつながります。些細なメモ程度も構いません。自分が理解した知識を活用し、自分の考えを文章にまとめてみましょう。頭の中の学習内容が整理され、どんな問題にも対応できる「考える力」の向上につながるはずです。

三年生

国語　豊田浩美先生より

今年は「新型コロナウイルス」のせいで、夏休みが少ししかありません。六月から学校が始まって、やっと「日常」を取り戻しつつある今、皆さんの心境はどうでしょうか。いつもなら、部活動をやりきって引退し、前期中間考査の結果に一喜一憂し、「いよいよ勉強しなくては…。」と気持ちだけが先走る頃です。しかしながら今年は、方々に未練や慣りを残し、何一つ達成感の得られないまま、夏を迎えてしまいました。今正にやるべきは、「気持ちの切り替え作業」です。時は待ってはくれないし、夏休みも限られた時間しかありません。

そんな中で、国語の勉強は何をしたらよいのか。まずは自分の「基礎力」の定着具合を確認することです。忘れている所を覚え直し、基礎の上に応用力を乗せていく。古典文法、語彙力の豊富さが五点、十点と得点を増やすことに繋がるはずです。日本語だから大丈夫！と思い込み、いつまでも後回しにしないことです。皆さんは、読解問題を正解しながら、簡単な漢字の読み書き、意味を答える設問で得点できません。文法もまた、確実に点数を稼げる得点源なのですから、覚悟を決めて覚えて（暗記して）ください。

それから、隙間時間を有効に使うことも受験生にはお薦めです。移動の乗り物の中で、古語単語を覚えるのもいいでしょう。食後の一休みに今日の新聞に目を通すことも大事です。今まで何となく過ごしていた時間を大切にすることで、国語の受験勉強時間は、いつの間にか確保されていきます。限られた時間の中で、どこまでやれるか自分を試してください。

数学　西山晴之先生より

いよいよ、夏がやってきます。学習がきちんと成果に結びつくようにするために、まずは、数学における「夏にすべきこと」を明確にしておきましょう。

夏にすべきこと、一つ目は「覚えていない、をつぶす」ことです。数学はたった一つの穴（例えば、公式を覚えていない、変形の仕方を知らない、等）が及ぼす影響が、他教科に比べ大きいです。もし（一）でその公式が出題されたら…と想像してみれば明らかではないでしょうか。この夏休み中に、今までおざなりにしてきたものにしっかりと目を向け、基礎的な知識の漏れをなくしましょう。演習で使っているテキストや、LEGENDなど、ポイントがまとまっているものが使いやすいと思います。それと同時に、それを使う問題を解き、使い方も定着させましょう。

夏にすべきこと、二つ目は「問題にじっくり取り組む」ことです。夏を過ぎると、どうしても焦りが生まれ、じっくりと問題に取り組むことができなくなりがちです。しかし、一つの問題にじっくりと取り組むことは、思考力を鍛え、記憶した知識を整理する最高の手段です。ぜひこの夏に、一問でも多くの問題にじっくりと取り組んでみてください。

以上二つの学習のポイントを挙げましたが、一番大切なのはいかに成果に結び付けられるか、です。実際に試験を想定し、それまでに何をしておかなければならないかを常に考えて学習しましょう。

英語　阿部祐一朗先生より

●これらは勧めません。

①ひたすら単語帳眺め

②文法事項をきれいにノートにまとめる。

③ただ英文を眺めるだけで、勉強した気になる。

●やっておきませう。やった分だけ力がつきます。

①長文の中での単語・熟語の確認＆英文の日本語への要約（解答作成力upを）

②Filtageの苦手問題つぶし。

③毎日一題は長文読解にチャレンジ（塾や市販の教材でもOK）＆解説の理解（何故自分の解答がダメなのか）。

④模試の過去問の解き直し＆解説の理解（何故自分の解答がダメなのか）。

⑤毎日耳を英語に慣らす（音声教材のディクテーション＆音読）。

●ポイント

・制限時間を設定し取り組む。キッチンタイマーも有効。

・意味不明語句は文脈から意味を類推（すぐに辞書を使わない。試験会場に辞書有りますか？）

・出来なかった問題に印を付け、定期的にトライ。ダメならまたトライ。出来る迄何度もトライ。

・この進路ジャーナルの他の勉強法も参考に自分のスタイルの確立を！

・夢工房の去年の先輩達の合格体験記もヤル気を高めてくれます（／・ω・）／&次は書く側になって下さい（(・∀・)）

・来る勝負の時を見据えしっかりと足固めをされたし！

理科　石井伸弥先生より

模試の結果を見て、学習時間と成績が比例せず焦っている人もいるかもしれません。ですが、ここが踏ん張りどころです。格好良さを求めて、基礎が定着していないまま難しい問題を解こうとするのではなく、腰を据えて教科の見通しを持つために既習分野の基礎問題に一度は触れる学習を続けてください。

ここでは目標別に勉強の流れの一例を紹介します。

◆ひとまず全国平均点を超えたい生徒

特に①の視点を持ってほしい生徒です。問題集の全ての問題を解いていくのではなく、解ける問題まで（小問の二問目まで等）で結構ですので、とにかく既習範囲全ての大問に触れてください。そこで、単元の漏れをなくすことを強く意識してください。大問の二問目までの問題を確実に正解することが出来れば全国平均点を超すことが出来ます。

◆得点源を目指す生徒

その問題を人に説明するには、どう説明しよう。という意識を持って問題演習を重ねてください。理科は自然の「なぜ」に答える学問です。なぜこの答えになるのか、なぜこの式を用いているのか。そういった解答のストーリーを人に説明することが出来れば点数が安定します。解答を読み込んで、自分の言葉で「なぜ」を説明できるようにしてください。

最後に、理科の計算は「比」の計算が多用されます。比の計算が行われている問題の特徴が見えるようになれば、解ける計算問題も増えてくると思います。

地理歴史・公民　菅野剛先生より

共通テストは各科目ともに文章量も資料も非常に多くて、読み取った上で考えさせるようにつくられています。読解力と思考力・判断力が同時に問われます。純粋な知識問題は以前のセンター試験に比べて少なくなっている印象を受けますが、知識が必要ないというわけではありません。むしろ、知識を使いこなせるレベルに消化して血肉化させておかないと、資料から読み取ったことと関連させて答えを導きだせない形になっています。だから、一問一答だけではまったく太刀打ちできません。常日頃からニュースや新聞などに目を向け、社会的事象に対する興味・関心を高めて、世界を見つめる眼を鍛えながら、各科目固有の知識・理解を深めていくことが必要です。用語を覚えるにしても、単体ではなく、時には網の目状に、また時には立体的に組み立てて頭の中に収納しておくことが求められます。

具体的な実際の学習はどう進めればいいのでしょうか。まずは、各科目ともに未習の単元があるので、課外授業に積極的に参加してください。次に、既習の単元（分野）については、夏休み中に再度復習しておくといいでしょう。問題集を解く場合には、リード文も読み込みましょう。教科書とは違う角度や視点で記述されているので、理解がより一層進むことがよくあります。問題集を解いたあとは、必ず授業プリントや教科書にまで立ち返って、自分が既に組み立てていた社会像や社会的な見方・考え方に欠陥がないかどうか、確認して欲しいと思います。できれば自分自身で自問自答しながら、詰めていって下さい。

進路室より～赤本部屋を活用しよう～

受験を制した先輩の多くは赤本部屋の住人でした。とにかく赤本部屋で勉強していました。合格した先輩の中には、あの張りつめた雰囲気の中で勉強していたことで、受験会場の緊張感に耐えられたと言っていた先輩もいます。赤本部屋の利点は、周囲に誘惑するようなものがないこと、先輩方が精魂こめて使用した赤本に囲まれて合格への思いをますます募らせられるということ、質問できる先生方が側にいることなどです。基本的に３年生が優先ですが、１・２年生も利用して構いません。学習場所も含め、とにかく学校を最大限に活用することが合格への近道となるはずです。

《赤本部屋の使用について》

①利用時間

水曜日　15：30 ～ 18：30

月・火・木・金曜日　16：30 ～ 18：30

土 曜 日　８：30 ～ 17：00（土曜課外実施日のみ）

夏休み中（月～金曜日）　８：30 ～ 17：00

②鍵の解錠・施錠について

鍵は進路室で保管しているので、進路指導室に来て鍵を借り、使用後は進路指導室に返却して下さい。

③飲食・私語は厳禁です

④整理整頓について

１人でも多くの生徒が利用できるよう、荷物を机の上において長時間留守にすることのないように注意して下さい。また、消しゴムの消し屑は必ずゴミ箱に捨てて下さい。

⑤赤本の貸し出しについて

赤本は2019年度以前のものは、全て貸し出し可能です。借りたい本がある場合、進路指導室に来て所定の貸し出し簿に記入して下さい。尚、この時進路指導室の先生に貸し出し印（サイン）をもらうことになります。返却する際も、先生の印（サイン）が必要になります。貸出期間は７日以内です。必要なページはコピーする等をして長期間の持ち出しはしないで下さい。

⑥その他

夏季にはエアコンの使用ができます。また、冬季には暖房機が使用できます。しかし、誰もいない状況でこのような冷暖房機器のスイッチが入っていると燃料が無駄になります。最後に部屋を出る生徒は、消灯の確認をすると共に、これらの機器のスイッチをオフにして下さい。

ルール違反をした生徒が１人でもいた場合は利用を制限します。気を付けましょう。

夏季休業中の予定

			行　事	1学年	2学年	3学年
8	1	土				東北大オープン
	2	日				
	3	月		夏季課外		夏季課外
	4	火		夏季課外		夏季課外
	5	水		夏季課外		夏季課外
	6	木		夏季課外		夏季課外
	7	金		夏季課外		全統共通テスト
	8	土		全統記述		全統共通テスト
	9	日				
	10	月	山の日			
	11	火				
	12	水	学校閉庁日			
	13	木	学校閉庁日			
	14	金	学校閉庁日			
	15	土				
	16	日				
	17	月				夏季課外
	18	火				夏季課外
	19	水				夏季課外
	20	木				夏季課外
	21	金		GTEC		全統記述
	22	土				全統記述
	23	日				小論文特別課外
	24	月	授業開始日	学力テスト		

※赤本部屋・学習室は、夏休み中も基本的に月～金は使用できます。